



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社

コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,571	4.7	1,070	20.0	1,058	15.9	730	36.4
2023年3月期第3四半期	16,781	5.0	891	△1.5	913	△1.9	535	△12.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,070百万円 (44.2%) 2023年3月期第3四半期 742百万円 (2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	79.55	79.10
2023年3月期第3四半期	58.49	58.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	44,036	16,308	36.9
2023年3月期	38,740	15,977	41.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,270百万円 2023年3月期 15,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	25.00	-	50.00	75.00
2024年3月期	-	35.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	24.4	3,000	100.5	2,900	88.1	2,100	128.0	228.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) ワイエイシイテクノロジーズ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,758,947株	2023年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	569,080株	2023年3月期	583,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	9,182,807株	2023年3月期3Q	9,154,615株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における世界経済は、コロナショック脱却に伴う経済活動の活発化により、一部で堅調な動きもありましたが、総じて低調に推移しました。ロシアのウクライナに対する軍事侵攻の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりによる不透明感、中国の不動産市場悪化と個人需要低迷、そして先進国における根強いインフレと各国中央銀行の金融引締め継続等により、景気後退懸念が高まっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高175億71百万円(前年同四半期比4.7%増)、営業利益10億70百万円(前年同四半期比20.0%増)、経常利益10億58百万円(前年同四半期比15.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億30百万円(前年同四半期比36.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (メカトロニクス関連事業)

クリーンコンベア等の各種自動搬送装置およびイオンビームミリング装置等は堅調に推移しましたが、5G等の電子部品向けテーピング装置及び自動機は顧客の事情による設備投資の先送り等により停滞しました。その結果、減収増益となりました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は72億87百万円(前年同四半期比3.9%減)となり、セグメント利益は8億16百万円(前年同四半期比17.5%増)となりました。

#### (ディスプレイ関連事業)

ドライエッチング装置の売上が停滞したことにより売上が減少しましたが、遠赤外線熱処理装置の売上が順調に拡大したことに加え、2023年4月1日にセグメント内で子会社間の合併を実施し、効率的な再配置により、黒字化を達成しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は34億5百万円(前年同四半期比2.9%減)となり、セグメント利益は3億50百万円(前年同四半期はセグメント損失1億81百万円)となりました。

#### (産業機器関連事業)

医療用リネン、アパレル及びEコマース向け包装機等に注力しましたが、ホームクリーニング向け設備投資の需要が回復せず、加えて自動光学検査装置の設備投資の先送り等により、低調に推移しました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は7億83百万円(前年同四半期比15.7%増)となり、セグメント損失は3億27百万円(前年同四半期はセグメント損失51百万円)となりました。

#### (電子機器関連事業)

電力会社向け通信制御装置の販売並びに人工透析装置等の販売が堅調に推移し、増収増益となりました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は60億94百万円(前年同四半期比21.6%増)となり、セグメント利益は5億98百万円(前年同四半期比71.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は333億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億9百万円増加しました。主な増加要因は仕掛品の22億48百万円、現金及び預金6億58百万円の増加であり、主な減少要因はその他流動資産1億73百万円、商品及び製品1億3百万円の減少であります。固定資産は107億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億86百万円増加しました。主な増加要因は投資有価証券13億17百万円、のれん5億26百万円等の増加であります。その結果、総資産は440億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億96百万円の増加となりました。

#### (負債)

流動負債は161億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億26百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金19億22百万円、支払手形及び買掛金4億80百万円の増加であり、主な減少要因は、賞与引当金2億4百万円、未払法人税等1億89百万円の減少であります。固定負債は116億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億38百万円増加しました。主な増加要因は社債20億50百万円、長期借入金3億89百万円の増加であります。その結果、負債は277億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億65百万円の増加となりました。

#### (純資産)

純資産は163億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加しました。その結果、自己資本比率は36.9%となり、1株当たり純資産は1,770円48銭となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2023年11月13日に公表しました通期連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,628	7,287
受取手形及び売掛金	11,282	11,489
有価証券	0	0
商品及び製品	1,371	1,267
仕掛品	7,695	9,943
原材料及び貯蔵品	2,114	2,485
その他	1,136	962
貸倒引当金	△121	△119
流動資産合計	30,108	33,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,107	5,155
減価償却累計額	△3,466	△3,555
建物及び構築物(純額)	1,641	1,600
機械装置及び運搬具	2,489	2,794
減価償却累計額	△2,000	△2,266
機械装置及び運搬具(純額)	489	528
工具、器具及び備品	3,751	3,849
減価償却累計額	△3,388	△3,519
工具、器具及び備品(純額)	363	330
土地	3,961	4,025
リース資産	406	436
減価償却累計額	△194	△230
リース資産(純額)	212	205
建設仮勘定	743	752
有形固定資産合計	7,412	7,442
無形固定資産		
のれん	—	526
ソフトウェア	51	48
リース資産	101	107
電話加入権	20	20
その他	15	229
無形固定資産合計	189	932
投資その他の資産		
投資有価証券	308	1,626
長期貸付金	9	26
繰延税金資産	563	436
長期滞留債権等	242	244
その他	171	275
貸倒引当金	△264	△266
投資その他の資産合計	1,030	2,343
固定資産合計	8,631	10,718
資産合計	38,740	44,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,252	5,732
短期借入金	6,713	8,635
リース債務	89	71
未払法人税等	370	181
賞与引当金	425	221
製品保証引当金	62	83
未払費用	297	366
前受金	171	218
その他	296	595
流動負債合計	13,680	16,107
固定負債		
社債	500	2,550
長期借入金	6,827	7,216
リース債務	250	271
繰延税金負債	79	116
退職給付に係る負債	1,321	1,306
資産除去債務	54	45
事業整理損失引当金	20	3
その他	28	110
固定負債合計	9,082	11,620
負債合計	22,763	27,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,668	3,697
利益剰余金	9,879	9,829
自己株式	△497	△484
株主資本合計	15,852	15,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	139
為替換算調整勘定	91	288
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	87	426
新株予約権	37	37
純資産合計	15,977	16,308
負債純資産合計	38,740	44,036

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	16,781	17,571
売上原価	12,584	12,757
売上総利益	4,196	4,814
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,349	1,483
賞与引当金繰入額	38	39
福利厚生費	52	59
賃借料	139	147
業務委託費	132	111
研究開発費	274	251
減価償却費	107	180
その他	1,212	1,469
販売費及び一般管理費合計	3,304	3,744
営業利益	891	1,070
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	52	4
為替差益	—	19
投資有価証券売却益	—	12
受取賃貸料	12	9
補助金収入	—	48
持分法による投資利益	0	0
その他	30	23
営業外収益合計	102	120
営業外費用		
支払利息	60	80
社債発行費	—	38
為替差損	10	—
その他	10	14
営業外費用合計	81	132
経常利益	913	1,058
特別利益		
固定資産売却益	—	13
負ののれん発生益	—	145
関係会社株式譲受益	—	118
その他	0	—
特別利益合計	0	277
特別損失		
固定資産除売却損	4	1
その他	—	0
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	909	1,333
法人税、住民税及び事業税	226	482
法人税等調整額	147	120
法人税等合計	373	603
四半期純利益	535	730
親会社株主に帰属する四半期純利益	535	730

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	535	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	141
為替換算調整勘定	210	197
退職給付に係る調整額	△3	0
その他の包括利益合計	206	339
四半期包括利益	742	1,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	742	1,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2023年4月1日を効力発生日として、連結子会社である株式会社ワイエイシイデンコーを吸収合併存続会社、連結子会社であったワイエイシイテクノロジーズ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、第1四半期連結会計期間よりワイエイシイテクノロジーズ株式会社を連結の範囲から除外しております。

なお、本合併は、同一セグメントの連結子会社間の合併であるため、当社連結業績への影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	7,586	3,506	677	5,011	16,781	—	16,781
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	23	0	0	24	△24	—
計	7,587	3,530	677	5,012	16,806	△24	16,781
セグメント利益 又は損失(△)	694	△181	△51	349	810	81	891

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額81百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等790百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△709百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	7,287	3,405	783	6,094	17,571	—	17,571
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	29	0	0	30	△30	—
計	7,287	3,435	783	6,095	17,601	△30	17,571
セグメント利益 又は損失(△)	816	350	△327	598	1,438	△367	1,070

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額367百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等317百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△685百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

産業機器関連事業において、J Eインターナショナル株式会社及び株式会社GDテックの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は526百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

電子機器関連事業において、宝産業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、負ののれん発生益を認識しております。

当第3四半期連結累計期間における負ののれん発生益の計上は145百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。